

<p>題材名 教材教具名</p>	<p>おべんとうを作ろう</p>
<p>教科・領域</p>	<p>国語・遊びの指導(おはなし遊び)</p>
<p>考案者・製作者</p>	<p>藤塚 三佐子</p>
<p>必要な物(写真があるとよい)</p>	<p>①大型絵本</p>  <p>②おべんとうを作ろう</p> <p>〈a〉</p>  <p>〈b〉</p> 
<p>保管場所</p>	<p>大型絵本・・・(図書室) 弁当箱・皿・食べ物の玩具・・・(小学部制作室の棚・一部個人所有)</p>
<p>内容・使い方</p>	<p>①【大型絵本】「おべんとうバス」の読み聞かせをする。・・・導入 (自分で弁当を作ってみようという気持ちが持てるように)</p> <p>②【おべんとうを作ろう】</p> <p>〈a〉①3種類の弁当箱を提示し、好きな弁当箱を選ぶように促す。 ②中身の入った皿を3皿提示し、好きな中身の入った皿を選ぶように促す。</p> <p>〈b〉 鈴が入った、大きさの大きい食べ物の玩具を用意し、提示する。</p>
<p>備考 (教材・教具の工夫点や配慮点)</p>	<p>(工夫点)</p> <p>* 食べ物の玩具は市販のプラスチックの物だけでなく、 手作り(型取りした発砲スチロールに色紙を貼った)の物を多く取り入れた。</p> <p>* C課程(肢体不自由、医療的ケア)の児童と一緒に活動をすることに配慮した。 ・弁当箱、食べ物の大きさを大きい物にした。(視覚) ・触ると鈴の音が鳴るように中に鈴を混入した。(聴覚) ・ソフトなボールや素材で作った。(触覚)</p> <p>(その他)</p> <p>* 〈b〉の食べ物の玩具に匂いを付けて提示する(嗅覚)予定であったが、 C課程(医療的ケア)の児童に参加する機会がなかったため実施しなかった。</p>